

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	前年度の目標達成計画に「事業所の人事評価として現在、管理者による職員の個別面談を行い、その内容を基に役職職員と代表者による人事評価のみとなっている。その為、各職員の自己の振り返りや意識の向上に繋がっていないと思われる。」という課題を挙げている。目標として、職員各々に「自己点検シート」を用いての自己の振り返りを行って貰い、点検シートを基にした面談と人事評価の実践に繋げていく事を目標としていたが、見直し段階で終わってしまい実践に繋がっていなかった。	平成29年度の期間中に、個人面談のみではなく、職員各々に自己点検シートを用いながら自己の振り返りを行って貰う。自己点検シートを使用する事で振り返りをして貰い自己意識の向上を目指し、事業所全体のレベルアップに繋げていく事を実践する。	管理者、代表者、役職者で人事評価項目の設定を行い自己点検シートを作成を行う。そのシートを活用して年2回の人事評価と面談を行って行く。※自己点検シートは完結に分かりやすいものを作成し、自己の振り返りがしやすいものとする。不足部分にだけ特化したものでなく、出来ている部分がプラスの評価に繋がり、職員の業務に取り組み姿勢など、モチベーションアップに繋がるようなものが望ましい。	12ヶ月
2	37	開設して4年が経過し、利用者様全体の高齢化、介護度が重くなってくるなど、日常生活動作の低下等が著名になってきている。その中で、自己決定の意思表示などを伝える事が困難な方が増えてきている。	日常生活動作やご本人の状態が悪化しないようや取り組みを行う。希望の表出や自己決定の意思を伝える事が難しい方に対して、表情や仕草等から思いを汲み取る事が出来るように職員のレベルアップに繋げていく。	定期の事業所の勉強会にて、認知症の方の関わり方だけでなく、自己の意思を伝える事が困難な方に対する思いを汲み取るスキルを身に付ける内容を実施する。それだけではなく、利用者様の介護度が重くならない様な取組み、(予防など)個別の対応なども含めて講習会・勉強会を実施し実践していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。